

次期行財政改革プラン策定方針（骨子）

これまでの改革における効果と検証

- 1 これまでの改革における主な効果
- 2 行財政運営における今後の課題

次期行財政改革プラン策定の基本的な考え方

- 1 行財政改革の継続の必要性
 - ・依然として厳しい財政状況とグッドサイクルの視点
- 2 次期行財政改革プラン基本方針
 - (1) 行政の果たすべき役割を踏まえた体制の再構築
 - (2) 民間活用による公共サービス提供の推進
 - (3) 社会経済環境に対応した持続可能な行財政基盤の確立

次期行財政改革プラン策定の主な視点と方向性

- 1 行政体制の再整備
 - (1) 職員配置・組織整備
 - ・局を含めた組織体制の再編整備 ・柔軟かつ機動的な組織体制と適正規模の行政体制
 - ・区役所機能の再編と強化 ・最適な市民サービスの提供体制 ・民営化や指定管理者制度の推進
 - (2) 新たな人事給与制度の実施とさらなる改革の推進
 - ・能力・実績に基づく人事管理の推進 ・市民の理解の得られる給与制度の構築
 - (3) 出資法人の自立的な経営の促進とあるべき姿の構築
 - ・経営の健全化に向けた更なる取組
 - (4) 公営企業の自立的な経営改革の推進
 - ・行財政改革と連動した取組の推進
- 2 公共公益施設・都市基盤整備の見直しと最適な整備・維持管理手法の選択
 - ・新実行計画との連携による施策や事業の検証 ・民営化も含めた公の施設の管理手法の検討
 - ・同一区域内施設の一体的管理手法の構築と適切な維持管理計画の策定
 - ・新たな入札契約制度の確立 ・整備事業等への民間部門の活用
- 3 市民サービスの再構築と最適な手法の選択
 - ・新実行計画との連携による市民サービスの検証 ・適切な受益と負担への取組
 - ・公平な市民サービスの確立 ・自治基本条例に基づく区役所サービスの推進
 - ・新たなサービス提供手法の確立
- 4 新たな財政フレームの策定
 - ・新実行計画の計画事業費と整合した財政フレームの策定